

- ・特別な配慮が必要な児童生徒に対する ICT 活用
- (4) デジタル教科書・教材・CBT システムの活用について
- (5) 保護者や地域等に対する理解促進について

運用支援の項目については、BYOD の活用や、クラウド環境を活用利用する場合、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」を確認し、適切な対策をする必要があります。

また、「学校における ICT 環境の活用チェックリスト」と「GIGA スクール構想 年度更新タスクリスト」には、学校設置者・学校・関係事業者等が、一人 1 台端末の円滑な運用に向けた準備状況や取り組み状況を自己判断し、改善できるようにまとめられています。

「学校設置者・学校・保護者等との間で確認・共有しておくことが望ましい主なポイント」には、児童・生徒が安心安全に端末を使用するために共通理解しておく良いことがまとめられています。

一人 1 台端末を積極的に活用するために、必要な準備や対策をしておきましょう。

▼GIGA スクール構想の下で整備された学校における 1 人 1 台端末等の ICT 環境の活用に関する方針について（通知）
https://www.mext.go.jp/content/20220303-mxt_shuukyo01-000020967_1.pdf

◇◆ トピックス (2)
文部科学省「小中一貫した教育課程の編成・実施等に関する事例集（第 2 版）」を公表
.....◆◇

文部科学省は 3 月 9 日、「小中一貫した教育課程の編成・実施等に関する事例集（第 2 版）」を公表しました。

第 1 版の公表から、各地域の課題を踏まえた独自の工夫が進展してきました。第 2 版では、一層の充実が図られるよう、全国の学校の取り組み事例が紹介されています。

事例集では、9 年間のつながりを意識した学習をするために、ICT を活用しながら、小中合同で研究授業を行っている様子が掲載されています。

例えば、授業をライブ配信する際は、自宅にいても発言できるようにすることで、距離を超えて対話的な学びが可能になった事例、

修学旅行のガイドブック作りをする際は、各自が情報収集したものをもとに、ロイロノートに下書きし、事例集共有し対話することで、レイアウトなどお互いの優れた部分を取り入れることができた事例などが紹介されています。

校務の情報化に関しては、小学校から中学校のデータを校務支援システムで一括管理し、9年間の児童・生徒の状態を把握できると同時に、教員の業務負担の軽減につながった事例が掲載されています。

文部科学省は、本事例集を活用して、小中一貫教育をより発展させるための参考にしてほしいとしています。

▼小中一貫した教育課程の編成・実施等に関する事例集（第2版）

https://www.mext.go.jp/content/20220225-mxt_syoto02-000019523_1-2.pdf

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

□【2】 情報セキュリティ事故ニュース ～ささいなミスが事故を招く～

■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■□□■

★☆ 情報セキュリティ事故の発生状況（2022年3月8日調査）

☆★ （1）紛失・置き忘れ：3件 （2）誤配布：2件 （3）誤送信：2件

☆★ （4）不正アクセス：2件 （5）誤公開：1件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2022年2月16日～2022年3月8日に合計10件の事故が発生しました。

情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

（1）紛失・置き忘れ

東京都 2022年2月24日 国立大学 USBメモリ 延べ4件

愛知県 2022年3月1日 県立専門学校 書類 38件

三重県 2022年3月2日 市立小学校 書類 31件

（2）誤配布

大分県 2022年2月17日 公立支援学校 書類 12件

大阪府 2022年2月25日 府立支援学校 書類 1件

（3）誤送信

新潟県 2022年2月22日 私立大学 電子メール 75件

長崎県 2022年2月25日 県立大学 電子メール 57件

(4) 不正アクセス

沖縄県 2022年2月28日 私立大学 システム・サーバー 275件

岐阜県 2022年3月2日 私立大学 システム・サーバー 電子メール 4件

(5) 誤公開

北海道 2022年3月1日 町教育委員会 会話 1件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しております。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

ITmedia NEWS/Security NEXT/中日新聞 Web/津市ホームページ/朝日新聞デジタル/

伊勢新聞ホームページ/ニュースサイト「毎日新聞」/大分合同新聞プレミアムオンライン Gate/

大阪府ホームページ/ScanNetSecurity/北海道新聞「どうしん電子版」/



□【3】 学校 ICT・セキュリティコラム



◆教育情報セキュリティポリシーガイドラインの改訂◆

ISEN 副委員長 井上 義裕

先日、文部科学省から教育情報セキュリティポリシーガイドライン

(以下セキュリティガイドライン)が公表されました。

セキュリティ対策は定期的に見直す必要があるとして、

平成29年10月に初めて策定されて以来、

令和元年12月、令和3年5月に改訂され、

今回は令和3年5月から10カ月ほど、同一年度内に改訂がなされました。

このセキュリティガイドラインは、

各教育委員会・学校が情報セキュリティポリシーの作成や見直しを行う際の参考とするものとして作られたものです。

教育委員会でネットワークの構築や情報セキュリティに携わっている方は、年度内に二度の改訂があり戸惑っている方もいらっしゃるかと思います。

そこで今回の改訂に関して簡潔にご紹介します。

今回のセキュリティガイドライン改訂で基本的な方針
(対策方針や組織体制の在り方など)の変更はありません。
大きなポイントは2つです。

1) アクセス制御による対策の詳細な技術的対策の追記

アクセス制御による対策を講じたシステム構成を実現するために、
校務用端末の詳細なセキュリティ対策が追記されています。

具体的には、校務用端末の詳細なセキュリティ対策の追記で、
「リスクベース認証(システムに接続する際、
場所や時間などが通常と異なる場合などに
ID・パスワードだけではなく追加の認証を行う方式)」、
「ふるまい検知(通信内容を監視し、
異常、あるいは不審な挙動を検知する仕組み)」、
「マルウェア対策」、「暗号化」、「SSOの有効性」などが
詳しく記載されています。

2) 「ネットワーク分離による対策」「アクセス制御による対策」を明確に記述

「ネットワーク分離による対策」および「アクセス制限による対策」の記述を
明確に分けることにより、表現が適正化されています。

校務用端末の使い分けについて対策毎に記述が適正化されています。

ネットワーク分離による対策を講じたシステム構成では、
ネットワーク毎に端末を使い分けるとしています。

アクセス制御による対策を講じたシステム構成では、
アクセス制御を徹底して1台の端末で運用するとされています。

また、校務用端末の持ち出しに関する記述も適正化されました。

ネットワーク分離による対策を講じたシステム構成では、
安全管理に関して追加の措置を定めた上で、許可制としています。

アクセス制御による対策を講じたシステム構成では、
情報セキュリティ管理者の包括的承認等による
持ち出しを検討するとなっています。

皆さまの現場の実情をよくご確認の上、
新しいセキュリティガイドラインに合った対策をご検討ください。

◆ 執筆者プロフィール ◆

ISEN 副委員長 井上 義裕

全国地域情報化推進協会(APPLIC)メンバー。

株式会社 JMC。APPLIC テクニカルアドバイザー。

クラウドや情報モラルに精通し、文部科学省や経済産業省の委託事業にも参画している。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◆◆ 「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書（第 2 版）」を公開 ◆◆……

「令和 2 年度 学校・教育機関における個人情報漏えい事故の発生状況」
調査報告書を更新しました（11 月 12 日時点での調査結果を反映）。
研修会などでご活用ください。

>> https://school-security.jp/leak_all/

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2 階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

▽ 「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いとは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>